

---

能登半島地震 復興支援企画「のとのかけはし」  
本学学生制作の漆箸を返礼品とした寄付金募集を行います

---

東北芸術工科大学（山形市上桜田／学長 中山ダイスケ）では、能登半島地震復興支援を目的とした企画「漆で繋ぐプロジェクト」の一環として、「のとのかけはし」と題した漆箸を本学学生が制作し、その箸を返礼品とした寄付金を募集します。

■「漆で繋ぐプロジェクト」について

上記震災において、能登半島に位置する輪島市は大きな被害を受けました。輪島は日本を代表する漆器産地であり、漆芸技術を学び、漆芸に従事する方が大勢いますが、その多くは家屋の倒壊や焼失により仕事を続けていくことが困難な状況にあります。産業の衰退はその一地点だけに影響があるわけではなく、県外から輪島の木地師に注文をしていた作り手や、漆芸に関わる道具を輪島に納めていた職人、材料屋の仕事にも及ぶこととなり、それは日本の漆芸界に大きなダメージを与える結果となります。その危機を脱するために、漆芸従事者による漆芸従事者に向けた支援活動を立ち上げました。

その支援活動が、チャリティオークション「漆で繋ぐプロジェクト」です。オークションでは企画に賛同した漆芸従事者が作品を提供し、売上の100%が支援金に充てられます（3月2日～3月13日開催）。集まった資金は「日本漆器協同組合連合災害支援金口」、「輪島漆研被害研修生見舞金」に寄付します（2024年2月7日現在）。

■「のとのかけはし」について

上記オークションに加え、「のとのかけはし」と題した漆箸を制作し、その箸を返礼品とした寄付金を募集するプロジェクトを企画しました。「のとのかけはし」は【最低落札価格・郵送費＋支援金（金額は入札者に委ねる）】で先着順で入札することができるため、オークション経験がない方でも簡単にご参加いただけます。

箸の木地は能登ヒバで（株）箕輪漆行（福井県越前市/代表 蓑輪 一美）が素材提供を行い、パッケージデザインと漆塗りを東北芸術工科大学の学生ボランティアが行い、全4回のワークショップで200膳を完成させます。

つきましては、多くの方に本取り組みをお知らせしたく、取材・広報のお願いを申し上げます。

■「のとのかけはし」ワークショップ日程

- ① 2月15日（木）13：00～17：00 木地の加工、拭き漆1回目
- ② 2月17日（土）13：00～16：00 研ぎ、拭き漆2回目
- ③ 2月28日（水）13：00～16：00 研ぎ、拭き漆3回目
- ④ 3月5日（木）13：00～16：00 検品、梱包

会場：東北芸術工科大学 新実習棟2階プロジェクトルーム1（旧金工製図室）

参加：各回20名程度の参加者 ※学内で募集し、賛同した学生ボランティアメンバーで制作

販売：3月2日（土）～3月13日（水）にWEBサイトで先着200名が入札できます

WEBサイト：<http://urushinoto2024.wixsite.com/japan>

■お問い合わせ・取材申し込み先

工芸デザイン学科専任講師 松本由衣（専門分野：漆芸、クラフト）

Mail：[matsumoto.yui@aga.tuad.ac.jp](mailto:matsumoto.yui@aga.tuad.ac.jp)

※本プロジェクトは松本専任講師を中心とした漆芸家メンバーが運営しています